



活力に満ちたパフォーマンス



# 生活と文化

中国は十数億の人口をもつ堂々たる大国である。世界銀行の標準的貧困ラインの計算によると、20年余りの間に、中国政府は5億人以上の人口を貧困から脱出させ、中国人の生活は60年前の建国初期に比べて、大きな変化をとげた。2020年までに、中国社会が発展にむけて掲げる全体目標は以下の通りである。まず、社会事業をいちはやく発展させ、全面的に国民の生活を改善させ、社会の就業をさらに充実させる。そして、地域をさらに調和的に発展させ、都市部と農村部の住民をカバーする社会保障システムを基本的に確立し、すべての人口が基本的生活の保障を受けられるようにする。また、合理的で秩序ある所得配分の基本的仕組みを形成し、中級レベルの所得者を増やし、絶対的貧困現象を基本的に撲滅させる。さらに、人口が基本的な医療衛生サービスを受けられるように、社会管理システムを整備する。





楽しい遠足

## 社会生活

### 所得と消費

「中華人民共和国国民経済と社会発展第12次5カ年計画要綱」で「第12次5カ年計画」（2011年～2015年）に発展させる多項目にわたる主要な目標が公表された。その中に国内総生産（GDP）を年平均7%増大させ、都市部住民の1人当たり可処分所得と農村部住民の1人当たり純収入をそれぞれ年平均7%以上増やすとされている。「第12次5カ年計画」では明確に所得の増加幅がGDPの増加幅を超えるとしている。そして、各地に制定された「第12次5カ年計画」の中で5つの省が「住民の所得が経済成長を『上回る』」ことを打ち出した。

2010年の農村部住民1人当たり純収入は5919元で、価格要素を取り除いても、前年に比べて実質10.9%の増加となった。また、都市部住民の1人当たり可処分所得は19109元で、実質7.8%増加した。都市部と農村部の住民の生活レベルの絶え間ない向上に伴い、中国の消費構造は明らかに最適化、グレードアップされ、衣食が満ち足りるかどうかという消費から享受型消費へと移り変わった。教育や住居、自動車、パソコン、株式売買、海外観光がすでに人びとの日常生活の投資や消費の主な選択肢となっている。中国人の生活の質はたえず向上し、服装や食生活、住宅、交通手段などに大きな変化が起こった。服装はファッション志向となり、食生活では栄養を重んじ、住宅では広さや快適さが重んじられ、交通手段ではタクシーやマイカーの利用が日常化している。



中国の消費拡大の最も速い新領域は主に以下の消費分野に集中している。それは、マイカーに代表される交通消費やモバイル通信と情報に代表される通信情報消費、住居に関する商品消費、教育、観光に代表される精神文化の消費である。

いくつかの都市の交通構造では、公共交通から個人の交通へ移行する動きが見られ、乗用車で出かける割合がだんだんと増えている。国家統計局のデータによると、中国のマイカー保有台数は年平均20%以上の伸び率となっている。しかし、人口の増大で、公共交通を大きく発展させると同時に、いくつかの都市、例えば北京では、車の購入制限に関する政策が実施された。それは、渋滞の回避と緩和、省エネ・排出削減の実現をはかるためである。近いうちに、このような流れが中国の発展の動向になっていく。

住宅消費の分野では、個人の所有権を主体とする都市部住宅の所有権の構造がおおむね形成されている。住宅問題は国の経済と人民の生活に関わるものであり、近年来、中国政府は不動産市場をコントロールしながら、緩やかな発展を促している。2003年に不動産規制が始まり、2009年末から現在に至るまで、国務院が相次いで市場秩序の規範化を含む、土地の整備、財政と税務、金融政策の措置を講じ、投資と投機性の需要を抑制し、普通分譲住宅の供給が増加するよう市場を導いている。また、保障的住宅の建設を速め、公共賃貸住宅を進展させ、合理的な住宅供給構造の形成を促し、

自転車でピクニックに出かける若者たち





多方面の住宅ニーズを満たしている。

観光消費方面では、都市部と農村部の住民の所得、収入の向上とレジャー時間の増加に伴い、観光業の発展が進んでいる。今後数年間、中国人1人当たりの消費水準は増え続け、消費方法も実物消費重視から実物とサービスも同様に重視する方向へ変化しつつある。祝日や休日などの余暇時間が中級先進国レベルに近づいていくに伴い、巨大な観光消費市場が急速に形成され、観光は都市部住民にとって生活の重要な一部になっている。2015年には、観光消費は住民の消費総量のおよそ10%を占めると予想される。

2010年度末現在、中国の総人口は13億4000万人、都市部人口は6億3000万人となった。現在、総人口の大半を占める農村部人口の1人当たりの消費支出は都市人口のわずか3分の1であり、そのため、農村部の消費がじょじょに内需拡大の重要な領域となる。現在、中国の農民消費は依然として基本的生活のニーズと農業生産財が主な消費を占め、パソコンや自動車などの消費の割合は比較的低い。中国は引き続き財政と貿易の政策を実施し、農村消費の特性に見合った、信頼性のある良質な家電製品の開発と生産を行い、家電と自動車、オートバイの農村部での普及率上昇を促進するための農村消費市場の開発に力を入れる。

## 労働就業

研究報告の予測によると、2050年までに、中国大陸の総人口は15億2000万人以上となる。すなわち、これから40年間、中国は依然として人口の増加期にあり、毎年大量の都市部の新規労働力、失業者、農村の余剰労働力が生まれるということである。中国は世界の9.6%の自然資源、9.4%の資本資源、1.85%の知的技術資源で、世界人口26%の労働力を占め、就業の機会を提供していかなければならない。これは大きな挑戦である。

「第12次5カ年計画」要綱は、就業の優先戦略を初めて打ち出した。産業構造と経済構造の面で、就業の創出を増し、人的資源の開発利用に役立つ経済産業と生産サービス分野の発展を特に重視している。すなわち、政府が積極的に就業対策を講じ、就業創出や創業規模拡大に力を



都市建設に従事する出稼ぎ労働者（農民工）





入れることである。特に、大卒、農村から移ってきた労働力、都市部での困難な人びとの就業問題を重点的に解決しなければならない。出稼ぎ農民の職業訓練、自主起業の支援などに力を注いでいる。今後5年間、都市部の新規就業者を年平均900万人に増やし、登録失業率を5%以下に抑えることになっている。

## 社会保障

中国政府は2020年までに、都市部と農村部の住民をカバーする基本的な社会保障システムを構築すると公表した。この社会保障システムにはさまざまな社会保険や最低保障制度、救助制度、慈善事業や商業保険なども含まれる。このような各項目の制度をつくることによって、中国は世界で最も大きな社会保障システムが整備された国になる。

世界的にみると、社会保障はすでに120年以上もの発展の歴史があり、世界恐慌などのいくつかの経済的困難に遭遇しながらも日々整備され、国の長期安定の促進のために大きな役割を果たしてきた。

中国の社会保障制度は新中国建国以後、何もなかったところから始まった。長年の努力を経て、中国の特色ある社会保障の枠組みシステムが初歩的に構築された。基本的養老、基本的医療、失業、労働災害、出産の5項目の社会保険制度がほぼできあがり、じょじょに整備され、最低生活保障を重点とする都市と農村における社会救済のシステムとして基本的に形成され、保障のレベルもだんだんと上がっている。

職員・労働者からいえば、社会保険は現在よく言われている「五険一金」というものである。「五険」とは五種類の保険のことで、養老保険、医療保険、失業保険、労災保険、出産保険が含まれる。「一金」とは住宅積立金である。その中の、養老保険と医療保険、失業保険の3種類は企業と個人が共同で一定額の保険料を納め、傷害保険と出産保険はすべて企業が保険料を負担する。「五険一金」の納付額は各地区で規定が違い、給与総額をベースとする。北京を例にとると、現在、北京の養老保険料の納付額の比率は、会社が20%、個人が8%とされ、医療保険料の納付額の比率は、会社が10%、個人が2%+3元である。失業保険料の納付額の比率は、会社が1.5%、個人が0.5%、労災保険料は所属部門の業種の範囲によって区分され、会社の負担で労災比率が0.5%から2%の間で決められる。出産保険料も会社で負担され、納付額の比率は0.8%である。現在、北京市で統一規定されたすべての雇用会社は給与の12%で住宅積立金納入を行い、個人と会社は各12%を納めることになっている。これは中低レベル所得の家庭の住宅問題解決能力の向上により役立つものである。

中国の人口が世界の約5分の1を占めるため、人口の多い発展途上国として、現在





中国の社会保障レベルが先進国に追いつくことはむずかしく、公民の基本的な生活しか保障できない。その基準は以下の通りである。養老保険——定年退職後の職員・労働者に中程度の生活水準を維持させる。失業保険——失業者の基本的な生活を維持する。医療保険——保険加入者の一般的な医療の需要を満たす。1990年から、国務院は『失業保険条例』『社会保険料徴収に関する暫定条例』『都市部住民の最低生活保障条例』などの法規を相次いで公布し、社会保障制度実施のために法的保証を提供することになった。今では、社会化した保障制度が一応形成され、それは養老保険、医療保険、失業保険、最低生活保障などの多様な機能を備えている。

現在、社会保障のカバー範囲が拡大しつつあり、国有企業や集団企業に集中していたものから非公有制企業や事業体へと広がり、フレックスタイムの就業者の權益も保障されることになった。

全国のあらゆる都市と県においては、一人当たりの所得が地元の最低生活基準を下回る住民に基本的な生活保障金を給付する「最低生活保障制度」が実行されている。生産力のレベルが比較的低い中国では、地域格差が大きいので、現在、全国統一の最低生活基準は実施されていないが、経済と社会の発展に伴い、各クラスの財政が絶えず増加しているため、最低生活基準もたえず引き上げられることになる。

中国は2002年から新しいタイプの農村合作医療制度が実施され、重病医療費の統一プール制度を発足させた。この制度は、個人の加入料金納付、集団扶助、政府の援助という原則をふまえて、資金を調達し、農村合作医療に加入した農民は入院した場合、農民に得るべき比例によって補助金を支給する。新しいタイプの農村合作医療は資金調達レベルがまだわりと低いが、8億以上の人口をカバーしており、世界でもカバーされる人口が最も多い保障制度だといえる。新しいタイプの農村合作医療基金は農民の患者にしか使わず、他のいかなる用途に転用してはならない。また公開かつ透明性のある監督メカニズムが確立された。そのほか、中国は農民に向けての医療救済制度を確立し、実施することを決定し、重病を患った貧しい農民家庭に医療救済を施すことになっている。現在、全国に規範的、完備した医療救済制度が基本的に構築され、必要とされる救済基金は各クラスの財政によってまかなわれたり、社会各階からの寄付など多様なルートによって調達したりすることになっている。

### 農村社会養老保険

中国の農村社会養老保険は、個人の支払いと集団の補助、政府の助成を組み合わせ、その中で中央財政が地方に対して補助を行い、直接農民に補助が届く。支払い構造上2つに分かれる。すなわち基礎年金と個人口座の年金。国家財政で全額の支払いを保障する基礎年金は中国の農民がいずれも60歳から国の年金を受け取れることができることを表している。計画によると、2020年までにすべての農民がこの保険を享受することができることになる。





「第12次五ヵ年計画」の期間、全国の総人口を13億9000万人以下に抑える。「第12次五ヵ年計画」において社会保障に関連するものは次の通りである。平均寿命を1歳引き上げ、74.5歳までになるようにする。新しいタイプの農村部の社会養老保険制度を全面的にカバーするようにしていく。都市部で基本的養老保険に加入する人数が3億5700万人になるようにする。都市部の職員・労働者医療保険、都市住民の医療保険、新しいタイプの農村合作医療保険という3つの基本的医療保険の加入率を3ポイント引き上げ、都市の住宅保障プロジェクトを3600万件立ち上げ、貧困層を大幅に減少させるなどである。

## 医療と健康

中国では、1000人当たりの医師数は1.75人、ベッド数は3.31床である。北京、上海、天津、重慶などの大都市には、腫瘍や心臓・脳血管の病気、眼科、歯科、中国伝統医学および伝染病などの診療を行うハイレベルの専門病院や総合病院があり、各省、自治区の中程度の都市にも先進設備を有する総合病院や専門病院がある。県には中心病院、郷には診療所、行政村には医療ステーションがあり、県、郷、村3クラスの医療施設も一定の規模を備えるに至った。医療・保健機構の設立および医療・衛生知識の普及で、中国人の死亡原因は、過去の伝染病や寄生虫病を主とするものから現在のガ

無償献血の前に健康診断を受ける若者



ンや脳血管疾患、心臓病などへと変わりつつあり、先進諸国に似てきている。都市部住民の健康状況は大きく改善され、全国人口の平均寿命は73歳となり、中程度の先進国のレベルに近づいている。

「予防を主とする」ことは中国の医療・衛生事業の重要な経験の1つとされており、各行政区域には衛生・防疫ステーションなどの予防・保健機構を主体とし、衛生監督管理と疾病予防機能を備えた機構が設けられており、全国的な衛生監督と防疫ネットワークが形成されている。国務院は2003年5月『突発的公衆衛生事件への応急条例』を發布し、それ以降、突発的公衆衛生事件の応急システムには法的なよりどころが整備された。

2009年から医薬衛生システムの改革をさらに進め、都市部だけでも医療保険への加入者数は1億1400万人に増え、新しいタイプの農村合作医療と職員・労働者医療保険、住民医療保険の3つの基本的医療保険制度はすでに12億6000万人をカバーするに至った。今や全人民がじよじよに医療保険を享受できるようになる目標が実現するところまで来ている。

## 中国の伝統医療

西洋医学と比べれば、中医学は独自の理論体系が構築されており、顔色の観察、脈をはかる、ハリ灸などの伝統的診断治療方法があり、薬品は主に天然の生薬を用いている。その独特の治療効果は千年らしい臨床によって認められている。現在、全国のほとんどの総合病院には中医学科が設けられている。

## 中西医学の結合

世界的に広く使用されている医療技術は、中国では西医（西洋医）といわれ、かなり高い治療水準を備えている。西洋医学と中医学を結合させることは、中国医学界において治療を行い、とくに難病を治療する効果的な方法として普及している。現在、中西医結合病院は約236カ所にのぼり、中西医結合治療に従事する医療関係者は7万余人に達し、数多くの総合病院は中西医結合の診察、治療を実施している。



小さな女の子から提供された角膜を患者に移植しているところ

「第12次五カ年計画」の期間には、さらに進んだ医薬衛生システムの改革と基本的医療衛生制度を完全なものにし、人びとが基本的な医療衛生サービスを楽しむよう整備を加速する。都市部と農村部の基礎年金と基本的医療保障制度のすべてのカバーを実現し、3つの基本的医療保険の加入率を引き上げ、定着させ、政策の範囲内での医療保険金の支給基準を70%以上にまで引き上げる。



## スポーツ

### 大衆のスポーツ

中国では豊富なスポーツ活動が行われており、各種類のスポーツ施設が100万カ所を超え、新中国成立初期の240倍以上となっている。国家体育総局が公表した調査結果が示しているように、現在、さまざまなスポーツクラブでのアスレチック活動に参加している都市部住民は60%以上で、「国家スポーツ鍛錬基準」を達成した学生数は学生総数の95%以上にのぼる。

### 全人民健康計画

中国で最初の『中華人民共和国体育法』が1995年に採択され、同じ年に、国務院が『全人民健康計画要綱』を公布した。そのあと、一連の法規と規則がつぎつぎと公布された。

国民の体位と健康レベルを全面的に向上させるための『全人民健康計画』は青少年と児童を重点とし、国民全体が毎日1回以上のスポーツ保健活動に参加し、2つ以上の保健方法を身につけ、毎年1回の体位測定を行うことを提唱している。

15年間にわたるこの計画では、政府は大衆に向けてのスポーツ保健サービス・システムを構築することを目指している。現在、ほとんどの公共スタジアムと体育館は一般の人たちに開放されている。都市部のコミュニティー、公園の広場、芝生地、道路わき、住民区ではいたるところに人びとにとって便利な保健施設が作られ、さまざまなスポー

ローラースケートを楽しむ子どもたち





ツ保健器具と設備が据え付けられている。

全人民健康計画に基づき、2015年までに都市と農村をカバーする全人民健康サービスシステムを形成し、スポーツ活動による健康づくりはより多くの人のびとのライフスタイルとなり、「国民体質測定基準」に達する都市住民と農村住民の人数（在校学生は含まない）の比率は90%以上までに引き上げられることになる。

## スポーツ競技大会

国民スポーツを振興するため、中国は全国スポーツ大会、全国農民スポーツ大会、全国大学生スポーツ大会、全国身体障害者スポーツ大会、全国少数民族伝統スポーツ大会という5つの大規模なスポーツ大会を定期的に開催している。全国スポーツ大会は「全運会」と略称され、中国の最高レベルの総合的スポーツ大会であり、4年ごとに開催され、1959年に第1回が開催され、これまでに11回行われ、2013年9月に第12回全国スポーツ大会を開催する。1988年から始まった全国農民スポーツ大会は4年ごとに開催される。1982年から開催されている全国大学生スポーツ大会は大学生の体位とスポーツ技術の向上をはかるための盛大な大会であり、4年ごとに開催される。1984年に第1回が開催された全国身体障害者スポーツ大会も4年ごとに開催され、そのほかに、全国少数民族伝統スポーツ大会を開催し、少数民族の伝統スポーツの魅力とレベルをアピールするものであり、1953年11月に第1回が開催された。

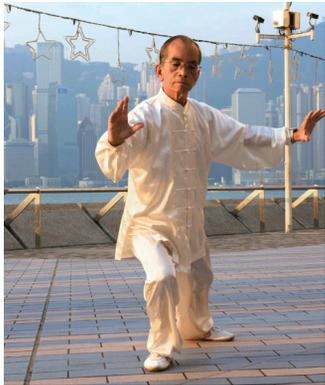
## 全国民の健康づくりデー

広範な大衆の日ごとに増えるスポーツ面における需要を満たし、国民が健康づくり運動により広く参加するよう呼びかけるため、2009年から毎年8月8日を全国民の健康づくりデーと定めている。県クラス以上の人民政府およびスポーツ行政主管部門はこの日に無料で健康づくりのアドバイスを行い、公共のスポーツ施設は、この日は無料で開放しなければならない。



青春のリズム





柔の中に剛がある太極拳



青海・チベット高原のヤクの競走

## 伝統的なスポーツ

中国の特色を持つ伝統的なスポーツ種目は日頃から人びとに親しまれている運動方式である。伝統的なスポーツ種目には武術、太極拳、気功、中国将棋、囲碁などが含まれる。

武術は健康を保つことができるだけでなく、護身にも役立つ。武術の主な内容には徒手拳法および器械による攻防が含まれ、それぞれの流派ややり方がある。太極拳は中国拳法の1つで、そのポイントは意念によって動作を導き、体が意念にしたがって動き、動作は柔の中に剛があり、パフォーマンスは華麗そのものである。気功は中国のユニークな保健法であり、意念をコントロールし、呼吸を調整することを通じて健康を保ち、寿命を延ばし、病気を治し、生理機能を向上させるという目的を達成するものである。

少数民族地域の伝統的なスポーツ種目も豊富多彩である。例えば、蒙古族、ウイグル族、カザフ族の人たちの民族相撲と馬術、チベット族のヤク競技、朝鮮族のシーソー、ブランコ、ミャオ族の弓術、タイ族の竜船競漕などはレジャーでもあれば競技スポーツでもある。

## 競技スポーツ

1956年6月7日に、ジャーク（重量挙げ競技の1つ）の故陳鏡開選手が上海で行われた中ソ重量挙げ友好大会で世界記録を樹立した。これは中国スポーツ史上初めての世界記録である。1959年に、卓球の故容国团選手がドイツで行われた第25回世界卓球選手権大会で中国スポーツ史上最初の世界チャンピオンとなった。1984年のロサンゼルスオリンピックでは、射撃種目の許海峰選手が、オリンピック金メダル「ゼロ」の壁を破り、中国代表団は金メダル15個を獲得し、金メダル獲得で4位となった。2008





プロ女子テニス全仏オープンで優勝した李娜選手



卓球は中国の重要な競技種目である

年の北京オリンピックでは、中国は金メダル獲得数1位、メダル数2位となり、中国競技スポーツの輝かしい歴史のページを開いた。冬季オリンピック大会は1980年に初めて参加し、2002年のアメリカ・ソルトレイクシティで開催された冬季オリンピックで、ショートトラックスピードスケートの楊揚選手が冬季オリンピックにおける初めての金メダルを獲得した。

新しい世紀に入ってから、各スポーツ分野で活躍している若い選手が成長しつつあり、男子110メートル・ハードル選手の劉翔、バスケット選手の姚明・易建聯、ボート選手の孟関良・楊文軍、テニス選手の李娜・孫甜甜・李婷・晏紫・鄭潔、スノーカー選手の丁俊暉などが世界の一流選手に仲間入りしている。

競技スポーツのすばらしい成果は日まじに完備した競技スポーツのトレーニングシステムのためのものである。青少年アマチュアスポーツ学校および末端スポーツクラブを基礎とし、省、自

治区、直轄市のチームを中堅とし、国家チームを最高レベルとするトレーニングシステムによって、全国の上級チームは通年2万人前後を保持している。2004年2月3日、国務院は『アンチドーピング条例』を公布し、初めてドーピング管理、アンチドーピングの義務づけ、ドーピング・テストと測定および法的責任などの問題について詳しい規定を行った。





## 身障者スポーツ

中国の身体障害者のスポーツは現在世界でトップレベルにランクされ、世界の大きな試合で優れた成績を獲得している。中国の身体障害者スポーツ代表団は1996年のアトランタパラリンピックで初めてベスト10に進出し、2004年のアテネパラリンピックでは金メダル数が1位となり、2008年の北京パラリンピックでは金メダル数がトップとなった。

中国の身体障害者スポーツの規範化は1983年の中国身体障害者スポーツ協会が発足した時から始まり、1985年と1986年にそれぞれ中国聴覚障害者スポーツ協会と中国知的障害者スポーツ協会が発足した。全国各省、自治区、直轄市の身体障害者スポーツ協会も相次いで発足した。中国はすでに8つの総合国際身体障害者スポーツ機構といくつかの種目別国際スポーツ機構に加入している。上海市と北京市はそれぞれ2007年の世界スペシャルオリンピック大会と2008年の北京パラリンピック(国際身体障害者スポーツ大会)を開催した。

## 文化と芸術

近年文化体制の改革がたえず進展している。公共の文化的サービスもよくなり、文化商品もさらに充実してきた。過去5年間で、出版や発行、映画・テレビなどの制作分野が企業化への改編が基本的に終わり、さらに文化体制メカニズムの改革・イノベーションが推し進められ、経営性文化部門の企業化への改編が加速的に行われ、公益性文化事業部門に対する改革も着実に推進され、統一的な開放と競争、秩序ある現代文化市場システムの構築をめざしている。

## 図書館

現在、全国には3000カ所の公共図書館があり、蔵書総数は5.5億冊(点)以上に達している。全国の行政区画から見れば、公共図書館は全国を基本的にカバーしている。大学図書館の中で、北京大学図書館と武漢大学図書館の蔵書量が上位にランクされている。全国の図書館の中



国家図書館の一角





近代的国家図書館

には科学研究部門の図書館や各種末端組織の図書館、小中高等学校の図書館が含まれている。

2700万冊(点)の蔵書を有し、データ資源が250TBに達している中国国家図書館はアジア最大の図書館である。特別収蔵文献は73万冊(点)にのぼり、甲骨片、敦煌で発見された文献(写本、印本)、地方志、著名人の自筆の原稿などの特色ある収蔵品の量と質はいずれも国内ひいては世界の図書館界の上位にランクされている。国の総書庫として、現代の書籍、新聞、雑誌のほとんどが収蔵されている。国家図書館は国内の外国語文献の最大の収蔵場所でもあり、収蔵されている外国語の書籍、または雑誌は1077万6000冊(点)に達している。1916年から、同図書館は国内の出版物の贈呈も受け入れ始めている。1987年から、国内の電子出版物の贈呈も受け入れ始めている。ここは国家図書目録センター(ISSN)とネットワーク情報センターでもある。現在、国家図書館はすでに全国の多くの図書館とデジタル図書館の提携関係を構築しており、共同で中国のデジタル化公衆情報サービスの発展と応用を促している。国家デジタル図書館に電子書籍・新聞資源バンク、高画質図画バンク、辞書バンクなど13のデジタルバンクが設けられ、それにより、国家図書館の書庫は向こう30年間の蔵書の需要を満たすことができる。また、デジタル図書館によって、国家図書館は世界最大の中国語文献収蔵センター、中国語データ・リソース基地と国内で最も進んだネットワーク・サービス基

地となっている。

内外でよく知られた上海図書館は中国最大の省・直轄市クラスの図書館である。収蔵されている古籍や文献は計 170 余万冊もあり、そのうち、とくに稀少な善本の古籍が 2 万 5000 種、17 万 8000 冊もあり、その多くは内外で一つしかないといわれる書物である。一番早い時期の収蔵品は約 1500 年ほど前のものといわれる。

2011 年度末には、全国のすべての公共図書館と文化館、文化ステーションが誰にでも開放され、公共施設はすべて入場無料となり、そこでの基本的サービスもすべて無料で受けられるようになった。2012 年度末には、全国のすべての公共図書館、一級レベルの文化館、省クラスの文化館、省都の文化館、東部地区の文化館が、基本的公共文化サービスを無料で提供し、サービスレベルを引き上げ、2 つ以上のサービスブランドをつくっていくことになった。その他の図書館と文化館では、健全な基本的公共文化サービスを無料でやっていくことになっている。

## 博物館

現在、中国には合わせて 1798 カ所の博物館があり、民間で開設された特色のある博物館を加えれば、全国のさまざまな博物館は 2400 余カ所に達する。これらの博物館の収蔵品は 2000 万点を超え、年間に展覧会を 1 万回近くも催している。秦の始皇帝の兵馬俑博物館に代表されるいくつかの文物博物館は内外の人びとに注目される文化財観光スポットとなっている。政府は博物館間の展覧交流イベント行事の展開を奨励し、合法的な民間収蔵品の展示と交流を奨励している。2015 年までに、中国はこれまでの



豊富な文化財を収蔵している故宫

### 初の私立博物館

観復博物館は新中国成立以来初めてできた私立博物館である。北京の有名な文物収蔵家である馬未都氏が 1996 年に創設したもので、2004 年に中国 10 大民間博物館に選ばれた。館内には磁器館、家具館、油絵館、工芸館、映像館、門窓館、多目的ホールがあり、中国古代文物の逸品を常時展示しているほか、テーマ展示会を定期的に企画し、文化交流セミナーを開催している。

基礎をふまえてさらに 1000 カ所の博物館を作り、すべての中クラス以上の都市にさまざまな機能がそろった博物館をそれぞれ1カ所作る目標をほぼ達成する。

北京の天安門広場の東側にある国家博物館は文化財の収集、考古学研究、収蔵、研究、展示を一体化した、中国古代、近代・現代、当代の歴史を反映する 100 余万点の貴重な展示品と百万冊を上回る文献図書資料を擁している。総建築面積は 20 万平方メートル近くに達し、世界で建築面積最大の博物館となっている。

## 文物保護

中国は広大な国土を持つ、数千年の文明国である。肥沃な土地の下には厚さ数十メートルもの文化蓄積層が眠っており、はっきりとした東方文明の足跡を見て取ることができる。有名な考古学上の遺跡としては周口店の北京原人遺跡、秦の始皇帝陵、長沙の馬王堆漢墓、敦煌の莫高窟、法門寺地下宮殿などがある。

また、中国は古代文明国であると同時に、数多くの文物を流失させた国でもある。ユネスコの大まかな統計によると、世界の 47 カ国 200 以上の博物館の所蔵品のうち、中国の文物が 164 万件あり、民間収蔵品の中国文物は博物館の収蔵量の約 10 倍以上に達するといわれている。

現在、中国にはすでに確認されている、移動不可能の地上および地下の文化財が 80 余万カ所もある。国から重要文化財指定を受けたものは 2351 カ所、省クラスの指定文化財は 8831 カ所、市、県クラスの指定文化財は 5 万 8371 カ所に達している。構築中の国家文物データバンクが 2015 年に完成し、それによって人びとは関連情報に目を通すことができる。

20 世紀 90 年代は政府の文化財応急保護への資金投下が最も多く、成果が最も著しい時期であった。この期間に、文化財の応急保護に用いられた中央財政による特別手当ては 7 億元に達し、文化財の応急保護プロジェクト



漢の時代の長信宮青銅器灯



漢の時代の錯金（金属をはめこむ  
工芸）青銅博山炉



安徽省の民家のたたずまい——宏村

トは 1000 余件に達し、数多くの倒壊寸前の文化財がちゃんと保護されることになった。2005 年からスタートした重要な遺跡保護プロジェクトに基づいて、国の財政は毎年大きな影響力を持つ重要な遺跡の重点的保護に 2 億 5000 万元を投下している。

文化財保護はちくじ法制化の軌道に乗せられることになった。現在、中国は 4 つの文化財保護に関する国際公約に加入している。1982 年に公布した『中華人民共和国文物保護法』は移動不可能な文化財、考古学発掘調査、館内所蔵文化財、民間の文化財収蔵、文化財の海外持ち出しと海外からの持ち込みなどについて規定を行っている。2003 年には『文物保護法实施条例』、『文物競売管理に関する暫定規定』を公布し、2006 年にはまた個別の文化財保護に関する最初の専門法規である『長城保護条例』を公布した。

現在、関連部門は 110 余カ所の国クラス歴史文化都市と 80 余カ所の省クラス歴史文化都市を選定している。2001 年から、国は毎年、著名な歴史文化都市の保護に 1500 万元の資金を投下している。

長い歴史を持つ農業大国として、中国の古い村落の数、地域分布の広さは世界でもまれに見るものである。これらの村落では自然環境が完ぺきな形で保護されており、民間の文化財と郷土芸術資料もたくさん保存されている。大がかりな古い村落保護の行動が文物部門によって企画されている。



惠山の泥人形

## 無形文化遺産

中国は世界無形文化遺産の最も豊富な国の一つである。2006年6月、国務院が第1回の国クラスの無形文化遺産リストを公布し、中には民間文学、民間音楽、民間舞踊、伝統芝居、寄席演芸、雑技・曲芸、民間美術、伝統手芸、伝統医薬、民俗の10種類の分野があり、合わせて518件である。

中国の昆曲、古琴芸術、ウイグル族のムカム（木卡姆）芸術および蒙古族の長調民謡はいずれもユネスコによって「人類の口承および無形遺産の傑作」という称号を授与された。そのうち、蒙古族の長調民謡は2005年に中国が初めて外国（モンゴル国）とともにそれを同じ無形遺産としてユネスコに申請し、認められたものである。そのほか、伝統音楽録音保存書類、清代の内閣秘本保存書類、清代金榜（殿試の合格者名を書き連ねた掲示の通称）、ナーシー族のトンパ古籍文献、清代「様式雷」（清代の御用建築家集団であった雷氏のこと）建築図保存書類も「世界記憶遺産リスト」に組み入れられた。2001年に、ユネスコは世界で最も長い叙事詩である中国チベット族の史詩「ゲサル王伝」を世界ミレニアム記念リストに組み入れた。

中国政府は無形文化遺産を保護する面で、数多くのすばらしい成果のある仕事に取り組んだ。例えば、政府の企画、組織のもとで編さん、出版した300巻、5億字近くの「10部の中国民族民間文芸集成志書」は中国各民族の大量の芸術文化資料を保存したもの

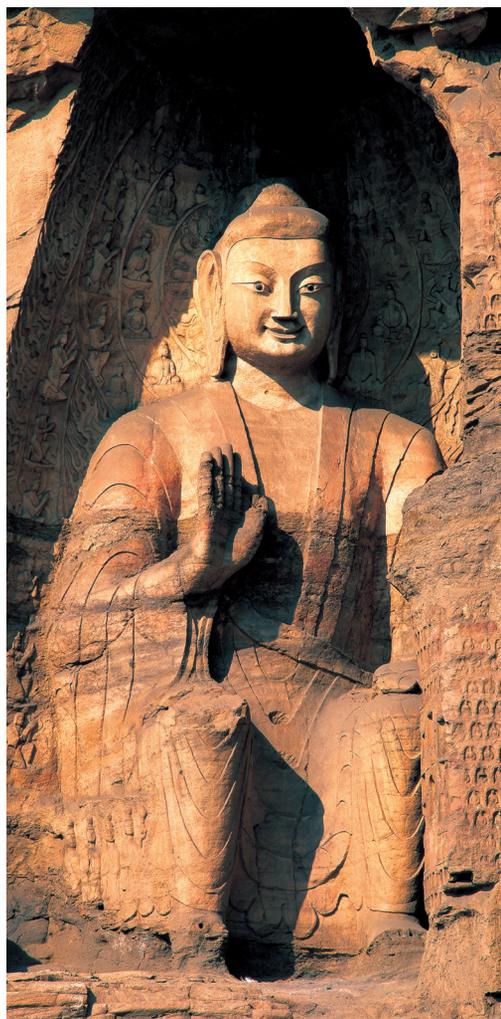


である。2006年2月に国務院は『文化遺産保護強化に関する通達』を下達し、無形文化遺産保護制度をちくじ形成するため、無形文化遺産の調査、保護、緊急措置および国クラスと省、市、県クラスの無形文化遺産リストシステムの構築に対して具体的な要求を提出した。

## 自然・文化遺産

中国は1985年に『世界の文化遺産および自然遺産の保護に関する条約』に加入し、1986年から世界遺産の申請を進めている。2010年の第34回世界遺産大会で、河南省登封の「天地之中」歴史建築群と、福建省泰寧、湖南省崀山、広東省丹霞山、江西省竜虎山（亀峰を含む）、浙江省江郎山、貴州省赤水からなる「中国丹霞」が「世界遺産リスト」に登録され、また、2011年、杭州西湖文化景観も「世界遺産リスト」に登録された。これによって、現在「世界遺産リスト」に登録された文化遺産および自然遺産は41カ所にのぼり、中に文化遺産が29カ所、自然遺産が8カ所、自然と文化の世界複合遺産は4カ所ある。

世界文化遺産に組み入れられた北京の明の十三陵、万里の長城、故宮、天壇、頤和園、周口店「北京原人」遺跡は、2004年から初めて大がかりな補修工事が行われ、すでに完工している。2006年から、中国は毎年6月の2つ目の土曜日を中国の「文化財の日」と決めている。

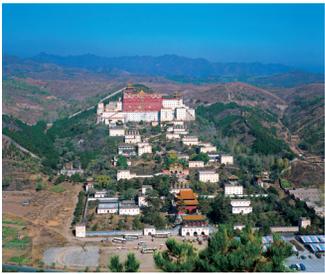


山西省の雲岡石窟の仏像





周口店「北京原人」遺跡



承德外八廟の須彌福壽之廟



武当山の古代建築物群



蘇州の古典庭園

## 万里の長城

北京市、1987、世界文化遺産

## 明・清時代の宮殿

北京の故宮——北京市、1987、

瀋陽の故宮——遼寧省、2004、世界文化遺産

## 周口店「北京原人」遺跡

北京市、1987、世界文化遺産

## 敦煌の莫高窟

甘肅省、1987、世界文化遺産

## 秦の始皇帝陵と秦の兵馬俑

陝西省、1987、世界文化遺産

## 泰山

山東省、1987、世界文化遺産および自然遺産

## 黄山

安徽省、1990、世界文化遺産および自然遺産

## 九寨溝

四川省、1992、世界自然遺産

## 黄竜景勝地

四川省、1992、世界自然遺産

## 武陵源景勝地

湖南省、1992、世界自然遺産

## 承德避暑山荘と外八廟

河北省、1994、世界文化遺産

## ポタラ宮

チベット自治区、1994、世界文化遺産

## 曲阜の孔子廟、孔府、孔林

山東省、1994、世界文化遺産

## 武当山の古代建築物群

湖北省、1994、世界文化遺産





## 廬山

江西省、1996、世界文化遺産

## 峨嵋山と楽山の大仏

四川省、1996、世界文化遺産および自然遺産

## 平遥の古城

山西省、1997、世界文化遺産

## 蘇州の古典庭園

江蘇省、1997、世界文化遺産

## 麗江の古城

雲南省、1997、世界文化遺産

## 頤和園

北京市、1998、世界文化遺産

## 天壇

北京市、1998、世界文化遺産

## 武夷山

福建省、1999、世界文化遺産および自然遺産

## 大足の石刻

重慶市、1999、世界文化遺産

## 明清の皇室陵墓

明の顕陵——湖北省、2000、

清の東陵・西陵——河北省、2000、

明の十三陵——北京市、2003、

明の孝陵——江蘇省、2003、

盛京三陵——遼寧省、2004、世界文化遺産

## 竜門石窟

河南省、2000、世界文化遺産

## 青城山と都江堰

四川省、2000、世界文化遺産

## 安徽省南部の古い村落——西遞、宏村

安徽省、2000、世界文化遺産



頤和園



清の皇室陵墓

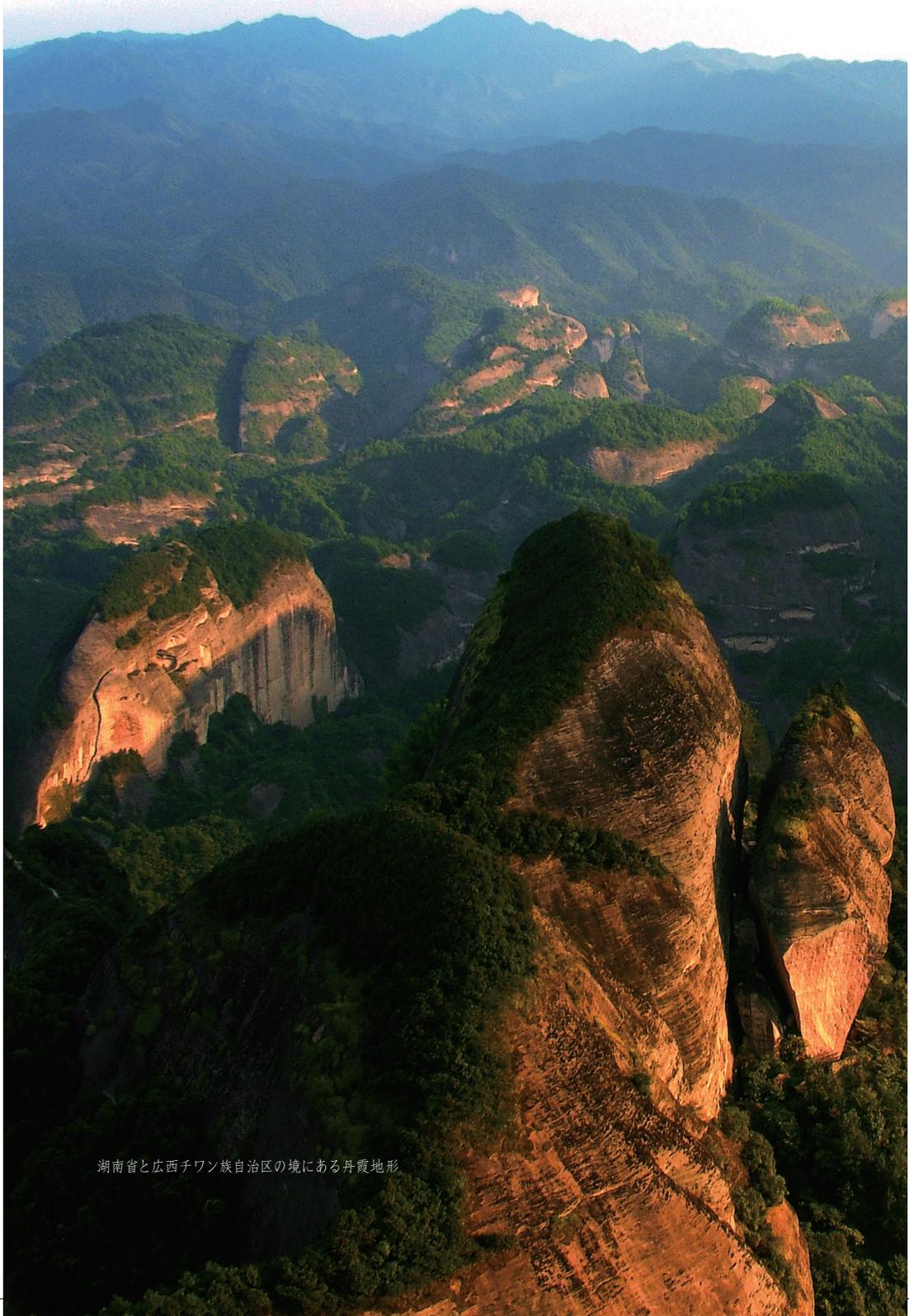


青城山



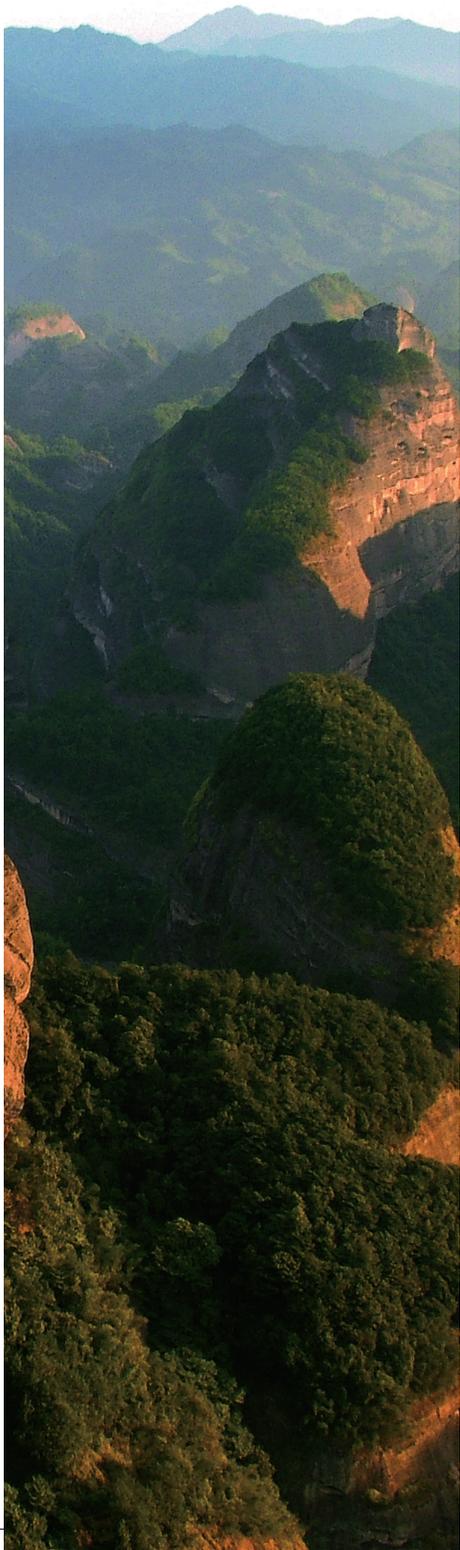
福建土楼





湖南省と広西チワン族自治区の境にある丹霞地形





### 雲岡石窟

山西省、2001、世界文化遺産

### 三江並流

怒江、瀾滄江、金沙江が合流する一帯の景観、  
雲南省、2003、世界自然遺産

### 高句麗王城、王陵および貴族の古墳

遼寧省、吉林省、2004、世界文化遺産

### 澳門歴史市街区

澳門特別行政区、2005、世界文化遺産

### 殷墟

河南省、2006、世界文化遺産

### 四川省パンダ生息地

四川省、2006、世界自然遺産

### 広東省開平の望楼と村落

広東省、2007、世界文化遺産

### 中国南方カルスト

雲南省、貴州省、重慶市、2007、世界自然遺産

### 福建土楼

福建省、2008、世界文化遺産

### 江西省三清山

江西省、2008、世界自然遺産

### 五台山

山西省、2009、世界文化遺産

### 登封の「天地之中」歴史建築群

河南省、2010、世界文化遺産

### 中国丹霞

貴州省赤水、福建省泰寧、湖南省崀山、広東省丹霞山、江西省竜虎山（竜峰を含む）、浙江省江郎山、  
2010、世界自然遺産

### 杭州西湖文化景観

浙江省、2011、世界文化遺産



## 文学

中国の最初の文学の成果は紀元前6世紀頃に編さんされた中国最初の詩集——『詩経』である。その後秦以前に生まれた素朴な散文、漢の華麗な賦、漢代末期の楽府民謡は各時代の文学スタイルを代表するものである。唐代においては詩の創作が最盛期を迎え、李白、杜甫ら著名な詩人が輩出し、5万余首の詩が後世に伝えられた。宋代は詞の流行が最も際立ち、元代の文学の最高の成果は雑劇である。明・清時代の『三国演義』、『水滸伝』、『西遊記』、『紅樓夢』など4つの長編小説は、中国古典小説の最高峰である。

20世紀の中国文学には20、30年代と80、90年代にそれぞれ2回のピークが現れた。最初のピークとなった「新文化運動」は、当初から強い反帝国主義・反封建思想の色彩を帯びたものであった。魯迅に代表される進歩的な作家が、中国の現代文学の事業を切り開いた。魯迅、沈從文、巴金、茅盾、老舍、丁玲、張愛玲は中国文壇の大御所と見なされている。

20世紀80、90年代に登場した国際的な影響力をもつ新しい作家群とその作品群は、中国の現代文学の成果と繁栄を具現している。作家らは現代中国語で現代中国人の生命や美意識の体験を表現する上でいちだんと円熟味を増した。グループとしての創作水準から言えば、現代の作家たちは言語で思考し、表現する上で高度な芸術レベルに達しており、すでに先輩たちを上回るものがある。

中国には数十の文学賞が設けられている。そのうち、かなり権威のある賞としては茅盾文学賞、魯迅文学賞および年度ごとの中華文学人物の選出などが上げられる。5年置きに一回評定・選出される中国女流文学賞は全国的なビッグな文学賞であり、ジャンルは小説、散文、詩歌、ノンフィクション文学、女性文芸理論および翻訳作品など5種類が含まれる。

1995年に、中国で最初の「カンランの木」（オリーブの木）という文学サイトが開通した。ネット文学の台頭とそのめざましい発展は現在、中国文学界で最も注目されるも



中国古典文学「四大名著」の『紅樓夢』、『三国演義』、『水滸伝』、『西遊記』

## ネット文学社

インターネットに伴い発展したネット文学社は、いまやメディア分野で、紙によって出版される伝統的文学社が比べられないほどの優位を示している。ネット文学社で表現できる内容は伝統的なものに比べ数十倍も多く、文学愛好者たちに多くの作品に触れる機会を与え、また自分たちの文学的才能を表現する可能性も与えた。

現在、中国ネット文学社は基本的に民間の性質をもつ。比較的有名なネット文学社には中国ネット文学社連盟、白帆文学社、起点文学社、新緑文学社、垂墨文学社、第六笔文学社などがある。



のとなっている。ネット文学は急速に台頭しており、新たなメディア文学のジャンルとして、中国文学全体の枠組みに一定の影響を与えていると言える。2002年、盛大ネットワーク傘下の「起点中文」(www.qidian.com)が開設された。これはネット文学が無料閲覧から有料へと転換したことを意味している。2006年にはブログが中国で急速に増え、ネット文学出版の新しい波が起こった。中国のネット文学は十数年をへて、巨大な商業価値をもつものから、いまや中国の文化クリエイティブ産業の中で最も発展の可能性を秘めた産業となった。

## 演劇

中国の伝統的な演劇には戯曲という独特な呼び方がある。それはギリシアの悲劇や喜劇、インドのサンスクリット劇とともに世界の三大古代演劇文化とたたえられている。中国の演劇は京劇、昆曲、越劇、豫劇、粵劇、川劇、秦腔など300余種類もあり、そのうち京劇が最も広く伝わり、影響力の最も大きなものである。歌と踊りを取り入れた形で劇のストーリーを表現することが中国の演劇の主な手法である。「梅花賞」は中国の演劇界の優れた中壮年の俳優にとっての最高の賞である。

新劇は20世紀の初めに国外から導入されたものであり、30年代に円熟の域に達した。現在、中国の新劇の最高レベルを示す存在である北京人民芸術劇院は新劇を約百種も上演し、そのうち『茶館』が最高水準の作品の一つとして国際的な注目を集めている。20世紀の劇作家である曹禺はいまでも最も優秀な劇作家と評価されている。

出演前にメーキャップをしているところ



### 京劇

京劇は中国の国劇と見なされている。200余年に及ぶ舞台芸術の実践の中で、1000以上の演目が蓄積され、京劇独特の音楽の拍子と演技の型ができあがった。梅蘭芳、程硯秋、馬連良、周信芳ら数多くの20世紀の名優や数多くの新しい世紀のすぐれた俳優が現われた。

### 昆曲

昆曲は「昆劇」とも言う。中国の文化史においてすでに500年以上の歴史を持ち、明清時代の代表的な演劇である。昆曲は「人類の口承および無形文化遺産」の1つであり、中国古典芸術の中で最も美的価値が高いものである。抒情性が高く、動作が細やかで、唄い方が穏やかで婉曲、美しく、抑揚があるなどが最大の特徴である。『牡丹亭』と『長生殿』が代表的な演目である。





中国各地にはさまざまな芝居がある

## 寄席演芸

語りと歌をあわせた伝統芸能の総称であり、民間の口承文学と歌唱芸術の長期的な発展や変化によって形成されてきた芸術形式である。現在、民間で活躍している芸能は400種前後に達する。相声（漫才）、評書（講談）、京韻大鼓（北京に始まり中国北部各地で流行している語り物）、揚州清曲（揚州民歌に起源を持ち、元明の俗曲を伝承したもの）、山東快書（竹製や銅製の拍子木を打ちながら、軽快なテンポで韻文の物語を聞かせる語り物）、安徽琴書（洋琴の伴奏で歌う語り物）、二人転（黒竜江省・吉林省・遼寧省で広く演じられ、伴奏に合わせて女形と道化の二人が踊りながら歌う演芸）、鳳陽花鼓（太鼓で伴奏する歌と踊り）などがある。とくに漫才や講談は広く伝わっており、ラジオ、テレビでよく放送、放映され、舞台上でよく演じられる大衆的な民間芸能となっている。

## 音楽

紀元前1世紀頃に、中国の民族楽器はすでに80余種類を数えるに至った。中国の



琵琶 (びわ)



二胡



笛



古琴

歴史上、音楽文化が盛んであった時期がいくつか現れ、琴曲である『広陵散』、『胡笳十八拍』、琵琶曲である『十面埋伏』、民族管弦楽曲である『春江花月夜』などいずれも古代の優れた音楽作品の範と言えるものである。

20世紀中葉いらい、西洋楽器や音楽が中国の伝統的音楽に溶け込むにつれ、中国の音楽芸術には歴史的な進展が現われている。音楽家たちは民族の特色のある現代音楽のすばらしい作品を数多く生み出し、例えば、大型舞踊歴史詩歌劇の『東方紅』、オペラの『洪湖赤衛隊』、ピアノ曲の『黄河』などがそれである。それと同時に、中国の音楽家と音楽芸術演出団体はさまざまな国際的な音楽交流とコンクールに幅広く参加し、多くの人が優れた実績を示している。

中国各地では毎年定期的にスケールの大きな音楽祭が催され、例えば、年1回催される上海国際芸術祭、北京国際音楽祭と北京国際演劇祭などの芸術の盛会は、数多くの世界の著名な音楽家と一流の音楽芸術団体を中国に引き付け、公演が行われている。

## 踊り

中国の民間舞踊には長い歴史があり、56の民族にはいずれも独特のスタイルを持つ民族舞踊が数多く伝わってきた。例えば、中国北部の漢族のヤンコ踊り、中国南部の茶摘み踊り、蒙古族の「安代」踊り、チベット族の「旋子」踊りなど。1959年国家バレエ劇団の設立により、西洋の舞踊芸術が中国に導入されることになった。これまでに、国家バレエ劇団による『紅色娘子軍』、『白毛女』、『大紅灯笼』など中国の特色のあるバレエ劇が観客たちの間で人気。祝祭日になると、人びとは民間舞踊を觀賞して楽しんでいる。中国歌劇舞劇院、中国東方歌舞団、中央民族歌舞団、中国バレエ団などの国家クラスの歌舞劇団は人びとのために円熟した、質の高い歌舞公演や歌舞劇を提供している。







祝日の踊り





## 書と絵画

中国の漢字は角張った文字で、骨組みや筆鋒に工夫を凝らし、書かれる過程と発展の過程で書の芸術を形成するに至った。中国の歴史においては書の大家が輩出し、その書の芸術とスタイルはその時代の書の典型的な代表作となっている。人びとの書に対する好みも今日まで伝えられている。

西洋の油絵と異なって、中国の伝統絵画は独特な表現形式を持つものである。6、7000年前の新石器時代の陶器の上に描かれた絵は中国の最も早い時期の絵画作品である。初期の頃は絵を描くことと字を書くことは同じ道具を使って行われ、しかもいずれも線を主とするものであったため、「書画同源」（書道と絵画はルーツを同じくするということ）という説がある。伝統的な中国画には題詩または題字があり、印章が押され、詩、書、印章、絵画が全体として芸術作品を成し、人びとにとって豊かな美意識の体験となっている。人物画、山水画と花鳥画はいずれも伝統的絵画として重要な存在であり、歴史において後世に伝わる名作が残されている。

聽琴圖軸、宋の徽宗・趙佶の作





現代中国の書道界や画壇は依然として活気にあふれている。中国美術館などの施設では年中さまざまな個展あるいは合同画展が催されており、中国の絵画展は毎年世界各地でも催されている。中国画のほかに、油絵、版画、水彩画などの西洋絵画も発展をとげている。一部の画家は中国画と西洋絵画の技法を融合させて創作を行い、画壇にさまざまなスタイルの芸術作品を出現させている。さまざまな現代の題材、形式、骨組み、手法をもととする現代芸術も一定の地位を占めており、ビデオ、デジタル、アニメ、音声芸術を含む新しいメディア芸術作品も内外の現代芸術展でつぎつぎと現われている。



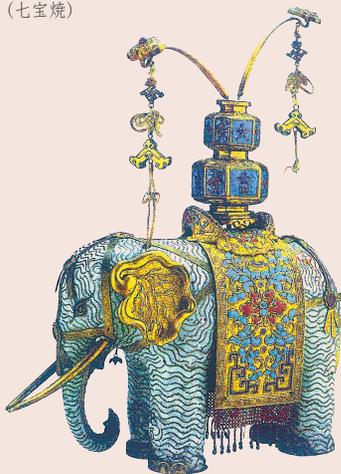
### 「798」芸術区 (アートゾーン)

「798」は北京の北東部にあり、もとは国営798工場などの電子工業工場が立ち並ぶ地域であった。2002年から、一連の芸術家と文化機構がここに入り、ギャラリー、芸術センター、芸術家のアトリエ、デザイン会社、レストラン・バーなどさまざまな要素が集まるアートゾーンとなり、国際的な雰囲気「Soho式芸術集落」や「Loft生活スタイル」が形成されている。現在、「798」芸術区はすでに中国文化芸術、とりわけ前衛アートの展示センターになっている。

### 伝統的工芸美術

中国の伝統工芸美術品は種類も多く、技術的にも優れている。切(切ること)、扎(絹や花を花飾りとして結ぶこと)、編(編むこと)、織(織ること)、刺繍、彫刻、彫塑、絵画などの技法を使って制作されたさまざまな中国の民間芸術品は、濃厚な郷土色と民族的風格を持っている。伝統的な特種工芸品は貴重な材料または特殊な材料を使って、入念なデザインと細工を経て作り上げられたもので、優雅な品格がある。例えば、玉石彫りは玉石を材料として彫った作品である。景泰藍(七宝焼)は明の景泰年間(1450~1457年)に盛んに作られていたもので、銅製の胎に藍色の上薬が施され、磨きをかけられ、模様や色合いが魅力的で、華麗で輝くように見える。

景泰藍(七宝焼)





中国映画製作業の繁栄ぶりを反映している第1回北京国際映画祭の開幕式



大人気のアニメ映画「喜羊羊と灰太狼（メエメエちゃんとオオカミ君）」のポスター

## 映画

中国は世界3番目の映画生産国と1番目のテレビドラマ生産国となり、映画の興行収入は6年連続して30%以上の伸び率を保ち、輸入映画が中国の映画市場を主導する枠組みを変えた。

中国映画の発展の主流はリアリズムである。1980年代中期から勃興した新たな映画創作の高まりの中で、リアリズム映画はテーマ、スタイル、形式の多様化を実現し、映画言語の模索、革新面であつてないレベルに達した。この中で、張芸謀、陳凱歌、黄建新ら諸監督が世界の映画界で注目されるようになった。20世紀末から21世紀の初めにかけて、60、70年代生まれの映画人が中国映画界の新世代の監督となった。賈樟柯、王小帥、張元、婁燁らがその代表者である。彼らの作品は大衆化の傾向を示し、ほとんどがドキュメンタリー手法で表現されている。

現在、毎年1回開催される中国の国際映画祭には長春国際映画祭と上海国際映画祭がある。「金鶏賞」は中国の優秀映画作品に与えられるグランプリである。そのほかに、国が主流映画の発展を奨励するために特別に設けた「華表賞」、観客が評価し選出する「百花賞」がある。中国映画童牛賞、香港映画金像賞、香港映画金紫荊賞（ゴールデン・バウヒニア賞）、台湾映画金馬賞、中国華語電影伝

## 中国の漫画・アニメ

中国の未成年の数は現在3億6700万人といわれ、漫画・アニメ産業の重要な消費対象としての潜在力をもつ。中国の漫画・アニメグッズ市場は毎年千億元の生産額を越える大きな発展の可能性を秘めている。2004年7月、初の「国家漫画・アニメゲーム産業振興基地」が上海に開設され、その年末には引き続き、北京漫画・アニメーションチャンネル、上海炫動漫画・アニメーションチャンネル、湖南金鷹漫画・アニメーションチャンネルという3つの漫画・アニメーションチャンネルが認可され、正式に初の国家漫画・アニメーション産業基地が9つと漫画・アニメーション教育教学研究基地が4つ開設された。2005年からは、毎年1回「中国国際アニメ・フェア」が開催されている。





媒大賞（中国語映画メディア大賞）などは中国の映画の発展を促進している。

## マスメディア

### ネットワークメディア

データによると、中国のネットユーザーはすでに4億2000万人に達し、99.3%の郷・鎮と91.5%の行政村がインターネットでつながり、96.0%の郷・鎮でブロードバンドにアクセスでき、3Gネットワークはほぼ全国をカバーしている。中国社会ではネットワークの迅速なひろがりのもと、全ての人民がどこでもインターネットにアクセスすることができるようになった。ネットメディアは最も迅速かつ便利な情報伝達プラットフォームとなり、情報ソースを大きく拡大し、社会の透明度を高めた。

1990年代中期に中国のネットワーク・メディアは在来のメディアと提携を始めていらい、在来のメディアが次々とインターネットにアクセスし、メディアの報道プロセスに従って運営されているいくつかの著名なウェブサイトは一応の規模を備えるに至っており、メディア報道の中でその強みを発揮している。

2005年中国移动（チャイナ・モバイル）が全体として携帯電話テレビ業務を開通させ、現在、メディアのイラスト、解説が携帯端末に接続し、ケータイニュースという新業務の展開を試みているメディアサイトも少なくない。2006年8月に、新聞出版総署はネットワーク新聞、ケータイ・ニュース紙、電子ニュース紙など多種類のデジタル出版形式と経営パターンを模索するため、中国デジタル新聞業実験室の設立計画を発表した。

さまざまなメディアにまたがり、さまざまな地域にまたがる多様化した経営を行うメディアグループ



視線を引くネット団体購入サイト「拉手網」の広告



WIFI 信号利用可能な公衆電話ボックス

### ネットによる政治参加

インターネットはその普及とともに、中国一般大衆の政治・経済・社会生活において重要な役割を担うようになった。インターネットは中国の公民が知る権利、参与権、意思表示権、監督権などを行使する重要な手段となっている。2008年6月20日胡錦濤総書記による「人民網」でのネットユーザーとの対話から、各省行政担当者のさまざまな形の一般市民とのネット交流に至るまで、中国の行政担当者はますますインターネットを通じて市民と政治について語り合い、政府の情報を直接伝えていくようになった。2009年にはミニブログが出現し、翌2010年にはニュースサイト、掲示板について中国インターネット第3の世論集約サイトとなった。インターネットは転換期の中国の発展と建設として危機管理にとって、非常に重要な意味を持っている。





第3回グローバル・モバイル・インターネット大会で人気を集める新浪マイクロブログ (Weibo.com) ブース

を作り上げることは中国メディア業の発展の趨勢となっている。2001年に、政府は地域にまたがる大マルチメディア報道グループを設立するという目標を提出し、またメディア業の資金調達や外国との提携、メディアにまたがる発展などに対し具体的な規定を行った。2001年末に発足した中国放送・映画・テレビグループは中央テレビ局など中央クラス

の放送、テレビ、映画および放送・テレビネットワーク会社の資源と力を整合し、テレビ、ネットワーク、出版、広告などさまざまな業務に携わり、現在、中国で規模が最も大きく、最も実力のあるマルチメディアグループとなっている。中央テレビ局の英語チャンネルも報道グループ傘下のフォックス報道ネットワークを通じてアメリカに進出した。

## 新聞

現在、中国では新聞の年間発行部数は約500億部、1日あたりの発行部数は1億部に達し、それによって、中国は日刊紙発行部数と1日あたりの発行部数はいずれも世界1位の国となっている。異なった読者に対して、新聞の形はますます豊富多彩なものとなっている。

新聞業界の再編は近年における発展の趨勢となっている。現在、全国には北京日報新聞業グループ、文匯新民連合新聞業グループおよび広州日報新聞業グループなど約50の新聞業グループがある。2006年、天津日報新聞業グループは発行の末端からデジタル化への転換をとげ、衛星を通じて海外で同時に新聞の発行を実現し、「天津日報」は「USA トウディ」などの新聞と同期に39カ国向けに送信を始め、新聞は世界で同日発行となり、同じ日に読めることになった。

新聞の影響力と市場競争力はラジオやテレビ、インターネットなど新聞メディアに代わるものの出現によって、じょじょに小さくなった。しかし、電子メディアの競争により、新聞の改革によって、中身としては「ニュース紙」から「見解紙」、「サービス紙」へと変わってきた。形の上では、印刷発行した新聞紙の形態のほかに、ネットワーク新聞、携帯ニュース紙、とくにiPadなどの電子版の形でモバイル閲覧できる新聞の出現で、新聞の取材や組版パターンを含む編集過程や経営のパターンを保存し継続している。新聞業はいま





でもマスメディアの機能と役割を發揮している。

## ラジオ放送

国営ラジオ放送局である中央人民ラジオ放送局は、現在 13 チャンネルで衛星を通じて毎日計 260 時間の番組をオンエアしている。全国の各省（自治区）、市など地方行政区域にも各自のラジオ放送局がある。

中国国際放送局は中国で唯一の外国向けの国営放送局であり、51 種類の外国語および標準漢語、中国の 4 方言、少数民族の言語合わせて 61 種類の言語で世界各地に番組を放送しており、毎日の放送時間は計 2471 時間に達している。

## テレビ

中国のテレビ業界には構造的にかなり整った番組制作、オンエア、カバーのシステムができあがっている。国営テレビ局である中央テレビ（CCTV）は現在 21 チャンネルのプログラムを運営し、さらにハイビジョン 1 チャンネルが開通され、それと同時に、20 余りのデジタルテレビ有料チャンネルとインターネットテレビ 28 チャンネルを運営しており、日に 630 時間以上もオンエアしている。各省（自治区）、市などの地方行政地域にもそれぞれ各自のテレビ局がある。上海テレビ祭、北京国際テレビ週間、中国放送テレビ博覧会、四川テレビ祭などの国際テレビ展示イベントが定期的に催されており、コンテストと授賞が行われるほか、テレビをめぐる学術交流とテレビ番組輸出入取引も行われている。現在、中央テレビの番組電波はすでに衛星により世界をカバーするに至っている。

「チャンネルネットサイト国家チーム」と呼ばれる中国インターネットテレビ局（China Network Television、略称CNTV）が2009年12月28日正式に開設された。中国インターネットテレビ局は中央電視台（CCTV）の45万時間の優れた歴史映像資料をさらに掘り下げ、全国のテレビチャンネルが毎日放送する1000時間以上のテレビ番組をまとめ、また、中国の各分野における優れた歴史文化を映像化し、それをデータ化して保存し、中国で最も大規模で影響力のあるネットワークチャンネルを中心とするメディアデータバンクをつくり、中国最大規模の正規版のメディア機構を設置することになった。

そのほか、中国新華電視網（CNC）は新華社が主として運営する国際ニューステレビ局である。中国語局、英語局を開設し、ニュース番組で突発事件や重大な政治、経済、文化的な事柄などを主とする世界的ニュースを24時間たえず配信している。新しい国際テレビメディア機構として、CNCは衛星テレビやケーブルテレビ、携帯テレビ、ネットテレビを通して、アジア太平洋地域や、北米、ヨーロッパ、中東、アフリカなどの地域へ発信している。







## 出版

改革開放から30年が経ち、中国は「書荒」（書物の不足）から「書海」（書物の海）へとかわり、新聞・雑誌も「兩報一刊」（新聞2紙と雑誌1種）から千万種類以上に増え、伝達表現方法も単一紙からいろいろな媒体へと変化した。統計によると、中国で

出版されている書籍と雑誌の数はすでに世界で1位にランクされており、書籍は1977年の1万2900種類から現在は31万種類にのぼり、総印刷部数も70億3700万冊となり、各種刊行物は9851種類に達し、印刷部数は約31億5300万冊となっている。

現在、全国には100余社の新聞（報道）出版企業グループがあり、報道出版産業分野ではすでに45社が上場企業となっている。予測によると、2020年までに、中国データ出版売上高はすべての出版産業の50%を占めることになり、2030年には、90%の書籍がネット版になると見込まれている。

WTO加盟時の中国の承諾に基づき、2003年5月に、新聞出版総署は5月1日から外国の業者が中国市場で図書、新聞・刊行物の小売業務に従事することを認可するという『図書、新聞・刊行物の代理販売企業への外国投資に関する管理規則』を公布した。図書、新聞・刊行物の卸売に投資する外資企業の設立に関する規定は2004年12月1日から施行されている。同規則では、外国の業者が図書、新聞・刊行物の小売と卸売企業の設立のために投資する場合、新聞出版総署の認可を得なければならないことになっている。

### 中国書籍の対外プロモーション計画

2006年、國務院新聞（報道）弁公室と新聞出版総署が正式に「中国図書の対外プロモーション計画」を実施した。2009年に國務院新聞弁公室はまた、「中国文化著作翻訳出版プロジェクト」を発表した。それらは中国の優秀な文化を伝えることを主な目的とし、助成で国内外の出版機関を支援し、国内外の出版機関は国際市場の中国をテーマとする書籍を出版し、これによって、各国の読者が中国をより詳しく正しく理解するようにサポートしていく。

中国のデジタル出版業は急速成長の勢いを見せている

